

WOMEN'S

LIFE

**SHE SAID ;
A WOMAN IS A WOMAN.
WRITTEN&DIRECTED
BY YOROZU IKUTA**

**ALL
ABOUT
NAO
FUKUMOTO**



DECEMBER 17-19, 2021
AT SHINJUKU AT THEATRE 3,000 YEN

PRODUCED BY dove/TAKAHISA HAYAKAWA



おんなはおんなである まるごとナオ フクモト



[writer/director] 生田萬
[cast] ナオ フクモト

三つの場面からなるオムニバスのスケッチ[笑劇]集。
登場するのは、ホームレス、AV女優、自分を黒人だと信じる少女の三人。
彼女たちがいまここに刻みこむ存在のシルシとは?
Une femme est une femme.おんなはおんなである。
あるいは、これは――
ナオ フクモトのすべてがわかる一人芝居。

WHO IS ナオ フクモト?

はじめて現場をともにした彼女に、ぼくがつけたあだ名は〈主演女優〉。決してバカにしているのではない。若くして身についた堂々たる貫禄、そして、現場に関わるすべての人にそそぐ至上のホスピタリティ。さらには、老獪な演出家相手にひるまない演技への真摯な姿勢は、まぎれもなく〈主演女優〉のそれだった。どんな端役でも彼女にかかれば主役になると、風の噂はささやく。そんな〈主演女優〉が、今回ついに一切ごまかしのきかない一人芝居に挑む。いずれ名実ともに主演女優になるとぼくは信じるのだが、彼女の噂の真偽のほどをぜひ確かめに来てほしい。(プロデューサー談)

WHAT IS dove (ダヴ)?

すべては座・高円寺劇場創造アカデミーからはじまった。2020年アカデミー修了公演でメインキャストの〈女〉を演じたナオ フクモト、そして、演出部の生田萬と早川貴久。ブラックホールの女に惹き寄せられた男たちは致命的な出会いを果たしたのだ。公演終了後も三人のココロとカラダの火照りはどうしても冷めなかった。なにかしなければ! いますぐ! ここで! そうして生まれた演劇ユニットがdoveである。とりあえずdoveがなすべきことは明確だった。ナオ フクモトのすべてを露呈させること。そうです。それが今回の公演なのです。



ナオ フクモト/nao fukumoto

profile

俳優。ダンサー。ボイストレーナー。

1994年東京の下町に生まれる。幼少期から健康優良状態を超え、立派なデブだった。その体型に反した身の軽さを生かすべく、5歳からクラシックバレエを習い、15歳からは東京のクラブダンスシーンで活動。数多のステージにバックダンサーとして参加する一方、ボーカライゼーションの技法を学ぶなどするうち、天性のリズム感と三段腹から湧き上がるシャウトのルーツは、自分がアメリカの黒人奴隷の生まれ変わりだからではないかと感じるようになった。語学力向上のため、英語劇のサークルに参加したのもそうした理由からだった。そうして、演じることの快楽に覚醒した彼女は、あろうことか演技力のスキルアップを目指して劇場創造アカデミーに入学、そこで致命的な出会いを体験することになる。

twitter @naofukumoto1994

生田 萬/yorozu ikuta

劇作家。演出家。プームと呼ばれるBOOMER。

ベビープームの只中に東京で生まれ、エレキプームの只中でバンドマンを目指すも挫折。やむなく大学に入学するもアングラプームの只中で寺山修司と遭遇、氏の主宰する天井桟敷初の市街劇で〈内気な少年〉役を振られ、新宿の街に放り出された。以来、今日まで〈内気な少年〉を演じつづける。その間、1981年に「ブリキの自発団」を結成。銀粉蝶、片桐はいりなどを輩出し、小劇場プームの只中を猪突猛進した。代表作には「夜の子供」など。TBS「世界遺産」構成作家、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督などを歴任したのち、劇場創造アカデミーのカリキュラム・ディレクターとなり、そこで致命的な出会いを体験することになる。

早川 貴久/takahisa hayakawa

演出家。MICOSHI COMPLEX主宰。

1990年秋田県に生まれる。自身の劇団では作・演出を担当。ほかに「虚構の劇団」(鴻上尚史主宰)で演出助手をつとめた一方、脱出ゲームの演出協力や、外部公演のドラマトルク、演技ワークショップ講師、イメージビデオのディレクターなどとしても活動している。生来の勉学熱心から聴講生となった劇場創造アカデミーで、修了後も修了公演の演出助手を担当、そこで致命的な出会いを体験することになる。

twitter @hayakawasan

date

2021年12月17日(金)～19日(日)

	12月17(金)	12月18(土)	12月19(日)	
14:00	●	●	●	【17日(金)14:00/19:00】
17:00			●	【18日(土)14:00/19:00】
19:00	●	●		【19日(日)14:00/17:00】

※受付開始・開場は開演の30分前です
※後日アーカイブ配信(有料)を予定しています。

place

at THEATRE(アットシアター)

東京都新宿区新宿5-4-1 新宿Qフラットビル B1
(新宿御苑前駅より徒歩 5分/新宿三丁目駅より徒歩 5分/新宿駅より徒歩13分)

tickets

全席自由 3000円 当日清算・現金払い

<チケット取り扱い>

カルテットオンライン

<https://www.quartet-online.net/ticket/womenslife>

2021年10月30日(土)10:00～予約開始



カルテットオンライン
QRコード

staff

照明:和田麻里子(ART CORE) 音響:大浦雛乃 ピアノ音源製作:福本鴻介 撮影:菊田正剛
宣伝美術:東福寺基佳 宣伝写真:Yoko Matsushita 制作:竹田容子 プロデューサー/演出補佐:早川貴久
協力:MICOSHI COMPLEX 島猛

文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

[get in touch] **dove** ✉ dove.since2021@gmail.com 🐦 [@dove_since2021](https://twitter.com/dove_since2021) 🌐 <https://dove.stage.corich.jp/>

